

令和7年度専門里親認定研修開催要項

1. 目的

本研修は、厚生労働省が平成14年度に導入した「専門里親」制度に基づき、専門里親として必要な基礎知識および養育技術を修得することを目的としています。

虐待や非行などにより心身に有害な影響を受けた子ども、また障害をもつ子どもに対する心理・行動の理解と適切な対応方法を学ぶことで、本制度のさらなる充実と推進を図ります。

尚、これは、都道府県・指定都市・児童相談所設置市区からの申込みを受け、「専門里親研修制度の運営について」（平成14年9月5日付け雇児発第0905003号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）に基づき、実施されるものです。

2. 主催／共催

主催：学校法人 早稲田大学 専門里親養成・研究プロジェクト

（〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-3-10 早稲田大学 29-7号館 221室）

共催：社会福祉法人 麦の子会

（〒007-0836 札幌市東区北36条東9丁目2-28）

※ 昨年度より住所が変更になっておりますので、お間違いのないようご注意ください。

3. 研修の特徴

本研修は、テキストおよび参考文献を活用した自宅学習による通信教育および面接授業（スクーリング）とオンデマンド授業を組み合わせ実施し、段階的かつ実践的に学びを深める構成です。

4. 研修期間

1) 通信教育（自宅学習）

令和7年7月1日（火）から10月31日（金）4ヶ月間

2) 面接授業（スクーリング）

以下のいずれかの会場・日程から選択して受講（2日間）してください。

会場1．早稲田大学 早稲田キャンパス3号館（東京都新宿区西早稲田1-6-1）
：令和7年8月23日（土）から8月24日（日）

会場2．大阪府社会福社会館（大阪府大阪市中央区谷町7-4-15）
：令和7年12月6日（土）から12月7日（日）

3) オンデマンド授業

令和7年7月1日（火）から面接授業開始時まで

5. 対象及び資格

1) 養育里親として3年以上の委託児童の養育の経験を有する者。

2) 3年以上児童福祉事業に従事した者であって、都道府県知事（指定都市にあっては、市長とし、児童相談所設置市にあっては、児童相談所設置市の市長とする。以下同じ。）が適当と認めた者。

①福祉関係：

児童自立支援専門員、児童生活支援員、児童指導員、保育士、児童福祉司、社会福祉士、精神保健福祉士、児童心理司

②保健・医療関係：医師、保健師、助産師、看護師

③教育関係：教員

④司法・矯正関係：家庭裁判所調査官、少年院教官

3) 都道府県知事が1)、2)と同等以上の能力を有すると認定した者。

6. 定員

各コース定員 40名

7. 内容

1) 通信教育（自宅学習）

「養育の本質・目的及び対象の理解に関する科目」（別紙1の①）を自宅で学習し、毎月2科目ずつ学習し、考査課題を提出します。（下表参照）

月	対象科目	締切日
7月	社会福祉概論、児童福祉論	令和7年7月31日（木）
8月	地域福祉論、養育家庭論	令和7年8月31日（日）
9月	社会福祉援助技術論、養護原理	令和7年9月30日（火）
10月	医学（児童精神医学を含む）、発達臨床心理学	令和7年10月31日（金）

① 考査について

各科目の考査課題は、提出締切の3週間前までにホームページの会員専用ページに提示します。内容は担当講師によって異なりますが、選択式および記述式問題が出題されます。

評価基準は、以下のとおりです。

- ・テキスト内容の理解度
- ・課題意図の把握と適切な解答
- ・自身の意見・考察の有無

考査結果は、通信教育終了後に受講者本人および都道府県・指定都市・児童相談所設置市区担当部署へ通知します。考査の評価（採点結果）が、基準点に達しない場合は、再考査となります。

② テキストについて

「使用テキスト一覧」については6月初旬にホームページでご案内します。
（参加者が各自で購入）

2) 面接授業（スクーリング）およびオンデマンド授業 別紙2

「養育の内容及び方法の理解に関する科目」(別紙1の②)を学びます。
面接授業開催中の欠席は、特別なことがない限り認められません。途中欠席した場合は、次年度の再履修となりますので、申込みの際は注意してください。

- * 令和7年度より一部の講義はオンデマンド配信となります。受講者には自宅等で視聴いただくことを基本としていますが、視聴環境等の関係で受講が困難な場合は、恐れ入りますが、貴所において適宜ご配慮・ご支援くださいますようお願いいたします。
- * 単年度に履修できなかった科目及びやむを得ない理由によりスクーリングを欠席した場合は、当該科目についてのみ、翌年度に限って履修することができます。
- * 都道府県・指定都市等の長は、上記の審査結果・スクーリング及び養育実習の結果を総合的に評価し、専門里親としての適性を判断します。

8. 申し込み方法・問い合わせ先

1) 「認定研修申込書」を、以下のメールアドレスまでお送りください。

※ 同一家族で複数名申し込む場合も、個別にお申込みください。

送付先アドレス

satooya.kensyu@list.waseda.jp

お問い合わせ (できる限りメールでお問い合わせください)

担当：早稲田大学 専門里親養成・研究プロジェクト (西郷、北村)

TEL：03-6273-8754 (毎火曜日 10:00～16:00)

※ 申込書の送付先は早稲田大学ですが、研修受講料等の振込先及び委託契約を締結する場合の契約先は、麦の子会となります。

麦の子会 連絡先：

〒007-0836 札幌市東区北 36 条東 9 丁目 2-28

社会福祉法人麦の子会 担当：高本

TEL：011-776-6856 FAX：011-776-6857

Email: satooya.kenshu@muginoko.com

9. 申込み締切り日

令和7年6月6日(金)

10. 参加者の決定

参加の可否は、6月初旬に都道府県・指定都市児童福祉主管部局長及び受講者あてに通知します。

11. 経 費

- 1) 研修受講料：1人 55,000円 (税込)
- 2) 考 査 代：1人 11,000円 (税込)
- 3) テキスト代：別途 (各自または派遣元で購入)

研修受講料および考査代の振込先：

銀行名：北央信用組合 栄町支店

科目：普通預金

口座番号：2106559

名称及び代表者：社会福祉法人 しゃかいふくしほうじん 麦の子会 むぎ こかい 理事長 りじちょう 北川 きたがわ 聡子 さとこ

※ 注意事項

- ・研修開始（7月1日）後、受講者の自己都合により受講を中止した場合も、受講料は発生しますのであらかじめご了承ください。
- ・派遣者または参加者の都合による払い戻しは、手数料がかかります。
- ・スクーリング会場までの交通費、宿泊費、食費等は派遣者又は受講者の負担となります。

12. その他

- 1) 受講料は「研修受講料」としてもお支払いいただけます。委託契約を省略することも可能です。委託契約が必要な場合は麦の子会にご連絡ください。その様式又は契約方法を申し込み時にご指示ください。
- 2) スクーリング期間中の保育サービスは提供していません。

別紙 1

① 通信教育科目(養育の本質・目的及び対象の理解に関する科目)

	科 目	主 な 内 容
1	社会福祉概論	福祉（理念）とは、社会福祉（歴史）の動向（海外の社会福祉）、基礎構造改革、福祉の領域、方法（社会福祉援助技術論）、ノーマライゼーション（理念）とは、行財政、法律・制度、マンパワー
2	児童福祉論	法制度の実施体制、相談機関、児童福祉施設の現状と課題、子どもの権利条約、行財政、マンパワー、歴史、各論（養護、障害、非行、情緒障害）
3	地域福祉論	関係機関・地域社会・他施設等との連携の必要性と実際、地域福祉計画、推進主体、児童相談所とのパートナーシップ
4	養育家庭論	社会的養護の体系、家庭的養護の現状と課題、社会的養護の歴史的展開、養育・自立支援の基本的なあり方
5	社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基本的な考え方、相談援助の方法
6	養護原理	社会的養護の動向、施設養護の現状、家庭養護の役割、家庭養護のあり方、子どもの権利擁護、パーマネンシー保障（パーマネンシー・プランニング）
7	発達臨床心理学	心の健康と発達、アタッチメント、分離と喪失、被虐待体験の影響
8	医学一般 (児童精神医学を含む)	子どもの健康と保健、発育と発達、知的障害、発達障害、精神障害

② スクリーニング科目(養育の内容及び方法の理解に関する科目)

	科 目	主 な 内 容
1	児童虐待援助論	被虐待児の心理と行動、被虐待児への関わり方
2	思春期問題援助論	思春期児童の心理と関わり方
3	家族援助論	実親の心の動きの理解、家族再統合に向けての援助
4	非行の理解と対応	問題行動の理解、生活環境づくり、子どもの力量形成
5	障害児の理解と養育	障害の種類と内容、障害のとらえ方、障害児への対応の仕方（発達障害・DSMにもとづく主な精神障害の分類と理解）
6	専門里親演習	ロールプレイングや事例検討を通して被虐待児等への関わり方を探求する

別紙2

面接授業（スクーリング）日程 予定
東京会場・大阪会場 共通

	時 間	内 容
1 日目	9:50～10:00	オリエンテーション
	10:00～11:30	講義Ⅰ「専門里親の意義と目的」
	11:30～12:30	休憩
	12:30～14:00	講義Ⅱ「児童虐待援助論」
	14:10～17:10	養育演習
2 日目	9:30～11:00	講義Ⅲ「障害児の理解と養育」
	11:10～12:40	グループディスカッション
	12:40～13:30	休憩
	13:30～15:30	全体討議

オンデマンド配信による講義 （7月1日より配信予定）

講義Ⅳ「思春期問題援助論」
講義Ⅴ「非行の理解と対応」
講義Ⅵ「家族援助論」

【視聴方法】

- ・動画は、ホームページの会員専用ページより視聴いただけます。
- ・面接授業（スクーリング）までに受講してください。

【視聴時の注意事項】

- ・お子さんがそばにいない静かな環境でご視聴ください。
- ・イヤホンまたはヘッドホンの使用を推奨します。
- ・視聴環境が整わないなど視聴が困難な場合は、管轄の児童相談所のご担当者にご相談ください。

【修了テストについて】

- ・視聴終了後は、オンラインにて簡単な修了テストを行います。

※ 時間帯は多少変更となる可能性があります。正式な日程表は6月初旬に講師情報とあわせてホームページに掲載しますので、ご確認ください。

令和7年度専門里親認定研修申込書

以下の者を令和7年度専門里親認定研修の参加者として申し込みます。

令和7年 月 日

都道府県・指定都市・児童相談所設置市区児童福祉主管部局長

氏名	フリガナ	年齢	歳	性別	
住所 連絡先	〒 電話 () (日中に連絡がとれる電話番号を記入してください) メールアドレス ※受講決定通知および考査課題等、郵送を希望される場合は、宛先を記入し切手を貼付した返信用封筒を送付いただくことをお願いいたします。				
管轄児童相談所名					
資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養育里親 (*里親で専門職の場合は両方に○をしてください) ・ 専門職 (職名:) ・ その他 () 				
通算経験年数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養育里親として 年から 年まで 年目 ・ 専門職として 年から 年まで 年目 				
(現在) 受託児の有無 と人数・年齢	<ul style="list-style-type: none"> ・ いる ⇒ 人 子どもの現年齢と受託時の年齢 歳 (歳から)、 歳 (歳から)、 歳 (歳から) 歳 (歳から)、 ・ いない (かつていた ⇒ 人) 				
実子の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ いる ⇒ 人 (末子の年齢 歳) ・ いない 				
希望会場 (○をつけてください)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京会場 (早稲田キャンパス) ・ 大阪会場 (大阪府福祉会館) ・ どちらでも可 				
最終学歴					
職歴					
備考					

<担当者>

氏名 _____ 所属 _____

Tel. _____ Email _____